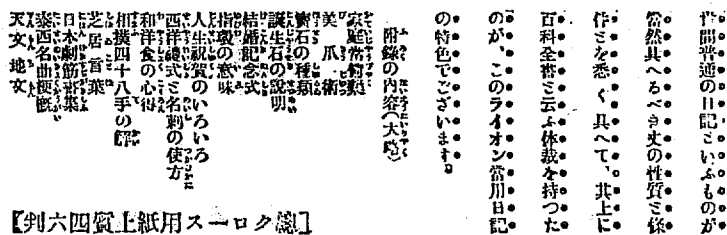


全部發賣

附 奥 录 附

[illegible]

大評判の新年號です
賣切れぬ内置く
書店で御求下さい

[illegible]

尾上梅幸 自叙傳
 女教員 捨子事件
 漫書 小説 初春玉の興

山田多のる 小山治平 岡本 一平 前川千帆 池部 鈞 服部亮英 戀も死も追はるゝ女(哀話)



[illegible]

迷の緑の園
 家出の緑の園
 吃驚新築祝ひ
 仰天新築祝ひ
 腥風佐原親分
 血孝乃木煎餅
 忠孝乃木煎餅
 兩念乃木煎餅
 惱め愛の十字架
 心愛の十字架
 史郎
 岡本
 靈華
 篠原
 春雨
 陳侍
 東家
 樂燕
 國枝
 史郎
 靈夢里重寶絆典
 早速御心記
 郊外の借家
 東西金言筑べ
 寄席の手品
 奇席の團扇
 戊午俳便お芽出度集

日本
 俳句
 東 西 俳
 松本松屋千代子
 三橋和子
 松岡千鶴
 太 榮 子
 比無麗豔
 新 羣
 特別
 廢刀令加藤友三郎 伊藤痴遊
 芝居王國松竹兄弟 渡邊霞亭
 星亨夫人橫田千之助 望月紫峰
 大倉喜八郎奮闘錄 大瀧鞍馬

[illegible]

読んで面白くて厚い新年號の傑作!!
知らず識らず爲になる日本一の快読誌

平壤の電力問題

福島會頭の聲明

犬馬の勞を盡し

市民の幸福と平壤發展の爲めに大に戦はん

平壤電力問題の如きは市民と

新會頭は如何なる態度にて

平壤電力問題の如きは市民と

建議者は吾輩

福島新會頭を援けて

大局に立脚し

大過なく職責

朝鮮一の工業地を以て許す

平壤の工業地を以て許す

福島君も聲明

通市市民の利

三縣下踏査所見

安南商業會議所 三田書記手記

遼東半島

遼東半島を踏査する

佐々木知事

佐々木知事の聲明

山路中將巡視

山路中將の巡視

守屋大佐赴任

守屋大佐の赴任

高女問題に就て

高女問題に就て

完全な協定

完全な協定

納税状況復舊す

納税状況復舊す

平壤府の電鐵計畫

平壤府の電鐵計畫

義士會大盛會

義士會の大盛會

釜山の義士會

釜山の義士會

裁培

裁培の報告

民心

民心の動向

工業調査機關

工業調査機關の報告

甘浦湖測量

甘浦湖の測量

水上署落成期

水上署の落成期

大豆取引状況

大豆取引の状況

大平野をなす

大平野をなす

釜山の義士會

釜山の義士會

釜山の義士會

釜山の義士會

御存じですか?

御存じですか?

男女

男女の事情

年

年の経過

日本

日本の現状

海運業

海運業の発展

太平火災海上保險會社代理店

太平火災海上保險會社代理店

國際生命保險會社代理店

國際生命保險會社代理店

三二美商會

三二美商會

三二美商會

三二美商會

御存じですか?

御存じですか?

男女

男女の事情

年

年の経過

日本

日本の現状

海運業

海運業の発展

太平火災海上保險會社代理店

太平火災海上保險會社代理店

國際生命保險會社代理店

國際生命保險會社代理店

三二美商會

三二美商會

三二美商會

三二美商會

御存じですか?

御存じですか?

男女

男女の事情

年

年の経過

日本

日本の現状

海運業

海運業の発展

太平火災海上保險會社代理店

太平火災海上保險會社代理店

國際生命保險會社代理店

國際生命保險會社代理店

三二美商會

三二美商會

三二美商會

三二美商會

御存じですか?

御存じですか?

男女

男女の事情

年

年の経過

日本

日本の現状

海運業

海運業の発展

太平火災海上保險會社代理店

太平火災海上保險會社代理店

國際生命保險會社代理店

國際生命保險會社代理店

三二美商會

三二美商會

三二美商會

三二美商會

激増の傾向あり

郵便局では米國製電動押印器を使用して天手古押ひ

過まぐ師走の街頭から

大變仕事に殖へた

豊屋さんに襖屋さん

お正月を前に忙がしい
のるやうに忙がしい

近頃は大事仕事

お正月を前に忙がしい
のるやうに忙がしい

姜一味の犯罪には

何も深い根柢はない

一般民心は既に覺醒して
無謀な舉に相手はしない

更に宮内省から

攝政の讀方公表

一度各方面に通牒したるが訓
方々種々の議論したるが訓

在滿鮮人の救済は

奉天を中心とせねばならぬ

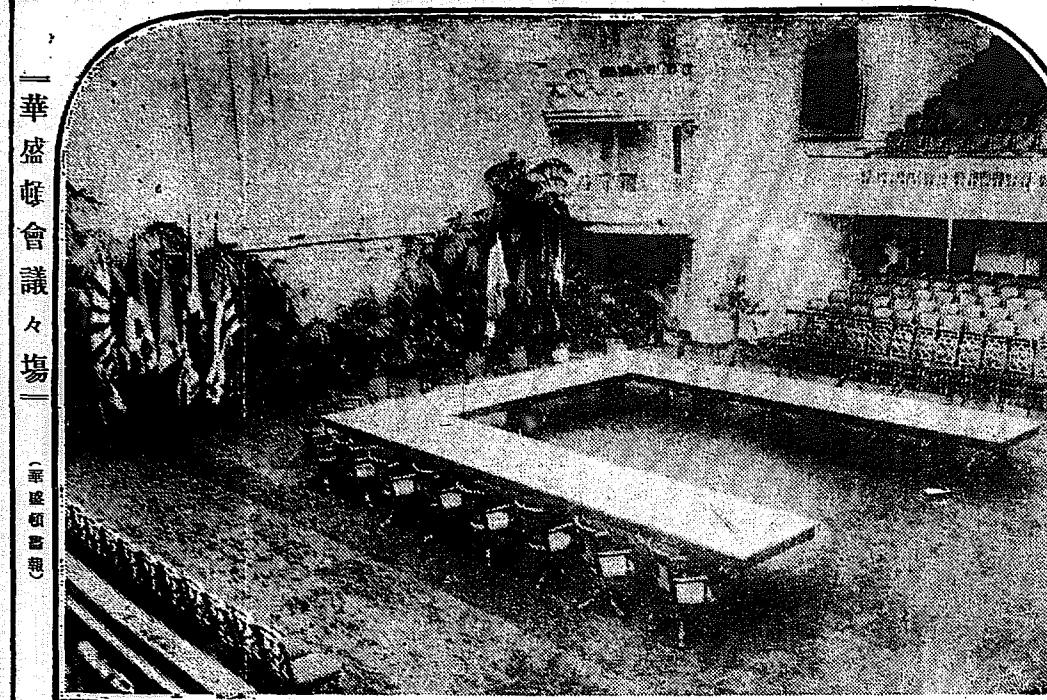
太平洋會議で支那人は
日本人に土地を賣らぬ

中等學校入學準備問題

牢獄の生活か

光明の生活か

是によつて評價はさまる



一華盛頓會議々場

始終問題になる

汚物を斯う処分したい

清溪川上に軌道敷設してトロッコで
汚物を郊外に運んで焼棄する

新年用の軌道

豊屋さんと對して
お正月を前に忙がしい

姜一味の犯罪には

何も深い根柢はない

一般民心は既に覺醒して
無謀な舉に相手はしない

更に宮内省から

攝政の讀方公表

一度各方面に通牒したるが訓
方々種々の議論したるが訓

在滿鮮人の救済は

奉天を中心とせねばならぬ

太平洋會議で支那人は
日本人に土地を賣らぬ

中等學校入學準備問題

牢獄の生活か

光明の生活か

是によつて評價はさまる

華盛頓會議々場

一華盛頓會議々場

始終問題になる

汚物を斯う処分したい

清溪川上に軌道敷設してトロッコで
汚物を郊外に運んで焼棄する

新年用の軌道

豊屋さんと對して
お正月を前に忙がしい

姜一味の犯罪には

何も深い根柢はない

一般民心は既に覺醒して
無謀な舉に相手はしない

更に宮内省から

攝政の讀方公表

一度各方面に通牒したるが訓
方々種々の議論したるが訓

在滿鮮人の救済は

奉天を中心とせねばならぬ

太平洋會議で支那人は
日本人に土地を賣らぬ

中等學校入學準備問題

牢獄の生活か

光明の生活か

是によつて評價はさまる

華盛頓會議々場

一華盛頓會議々場

始終問題になる

汚物を斯う処分したい

清溪川上に軌道敷設してトロッコで
汚物を郊外に運んで焼棄する

新年用の軌道

豊屋さんと對して
お正月を前に忙がしい

姜一味の犯罪には

何も深い根柢はない

一般民心は既に覺醒して
無謀な舉に相手はしない

更に宮内省から

攝政の讀方公表

一度各方面に通牒したるが訓
方々種々の議論したるが訓

在滿鮮人の救済は

奉天を中心とせねばならぬ

太平洋會議で支那人は
日本人に土地を賣らぬ

中等學校入學準備問題

牢獄の生活か

光明の生活か

是によつて評價はさまる

華盛頓會議々場

一華盛頓會議々場

始終問題になる

汚物を斯う処分したい

清溪川上に軌道敷設してトロッコで
汚物を郊外に運んで焼棄する

新年用の軌道

豊屋さんと對して
お正月を前に忙がしい

姜一味の犯罪には

何も深い根柢はない

一般民心は既に覺醒して
無謀な舉に相手はしない

更に宮内省から

攝政の讀方公表

一度各方面に通牒したるが訓
方々種々の議論したるが訓

在滿鮮人の救済は

奉天を中心とせねばならぬ

太平洋會議で支那人は
日本人に土地を賣らぬ

中等學校入學準備問題

牢獄の生活か

光明の生活か

是によつて評價はさまる

華盛頓會議々場

一華盛頓會議々場

始終問題になる

汚物を斯う処分したい

清溪川上に軌道敷設してトロッコで
汚物を郊外に運んで焼棄する

新年用の軌道

豊屋さんと對して
お正月を前に忙がしい

姜一味の犯罪には

何も深い根柢はない

一般民心は既に覺醒して
無謀な舉に相手はしない

更に宮内省から

攝政の讀方公表

一度各方面に通牒したるが訓
方々種々の議論したるが訓

在滿鮮人の救済は

奉天を中心とせねばならぬ

太平洋會議で支那人は
日本人に土地を賣らぬ

中等學校入學準備問題

牢獄の生活か

光明の生活か

是によつて評價はさまる

華盛頓會議々場

一華盛頓會議々場

始終問題になる

汚物を斯う処分したい

清溪川上に軌道敷設してトロッコで
汚物を郊外に運んで焼棄する

新年用の軌道

豊屋さんと對して
お正月を前に忙がしい

姜一味の犯罪には

何も深い根柢はない

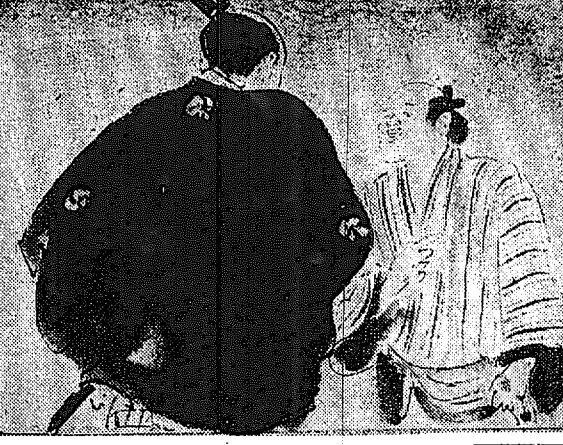
一般民心は既に覺醒して
無謀な舉に相手はしない

更に宮内省から

攝政の讀方公表

一度各方面に通牒したるが訓
方々種々の議論したるが訓

第一七一席

[illegible][illegible][illegible][illegible]

唐人の「醫書」も、使ひなかり
不死の薬も、萬病の薬もないが
餘福も餘禍もないのです
星 五山に、城大坊
發丁で教致して始まる生いた氣
配、墨君の面目をさびむいたと
ころだ

同 奉天 漢 恩

長城は草を生やして二千年
▲花瀟柳蛙生へ貨く、往所本名
お知らせ下さう
牧野扶度注射器圖

内科小兒科
皮膚花柳科
E.E.E.

永樂醫院
今村純義
京城永樂町二ノ七
西本願寺前
電話一九四四番

[illegible][illegible]

六三 困蒙吝
 九二 困蒙吝
 九三 困蒙吝
 六四 困蒙吝
 九五 困蒙吝
 上六 困蒙吝

六三 困蒙吝
 九二 困蒙吝
 九三 困蒙吝
 六四 困蒙吝
 九五 困蒙吝
 上六 困蒙吝

六三 困蒙吝
 九二 困蒙吝
 九三 困蒙吝
 六四 困蒙吝
 九五 困蒙吝
 上六 困蒙吝

六三 困蒙吝
 九二 困蒙吝
 九三 困蒙吝
 六四 困蒙吝
 九五 困蒙吝
 上六 困蒙吝

は九紫・象腿にして長上の人、引立
を受ける婦女子の獨立を囑るにも妙
一白・龍首よりは遠くに利あり、財
間、金、銀行等には權して面白くない
二點・得意の總策に達する器やか
な日、開店にも旅行にも、結婚にも大吉
三點・思ひ違ひから大きな破れを
來す日、大事は午前中に片付くるが利

四條・利益に破く徳望失する日
 衰弱すれば破敗が變る大に自取せよ
 五勲・萬事より目的は達するも破
 弊の多い日破るを予て避絶せば
 六白・福徳圖滅絶を期せば破
 と斷絶しき臨取死生は角本を執る旨
 があつたが此がで解くくと今後は破者
 くと七八百の多數に上るのである

けるに於て婦人必讀の文字

化粧品の用ひ合せこ

調和の新研究

調和しない化粧品を用ひ合せると肌を痛めたり荒したり、果ては命まで取られる

[illegible]

化粧品の選び
 方が進歩した
 然るに調和しない化粧品を用
 合ふと、皮膚の變化
 醜い、うきもでき
 ぬつて化粧品も致しません
 故に化粧料は、一つ々
 々に化粧品を注意するよりも寧ろ
 化粧品相互の調和を吟味する様
 にならなりました
 最も良く調和
 する化粧品
 化粧品、錠白を含んだ白粉
 とを用ひ合れば醜が黒くなり
 甚だ醜態を呈すの白粉と白
 合れば顔が茶色になり、治癒
 の目的で水に化粧品を含ませた
 化粧品を用ひ合れば醜が黒く
 化粧品を、過剰に水素を含んだ
 化粧品を、過剰に水素を含んだ
 化粧品を用ひ合ればアルデハ
 イド又は酸類を含有してグリセリ
 ンの作用を失ひ、或る香水は不
 快極まる臭氣を放てて人體を害
 す。石炭性のクリームや化粧
 水と炭酸カルシウム性白粉や
 炭酸マグネシウム性白粉を用ひ
 合れば、白粉は必然酸類を
 含有し、皮膚を腐蝕するもの
 が多い眼薬を具へて居る者
 最も完備した研究所を有し、
 最も熱心な化粧品製造所
 化粧品と見識を具備した化粧
 品を製造すること、當研究所
 最終の願望を致して居ります
 どんな質問
 にも應ずる

日本で最先に化粧品を調製したのは、明治の初めに、
に注意し、出たのは、理髪店、歯
商売のホー・カー化粧品のみであ
ります。ホー・カー化粧品ならび
どれとれれ用合しても、互に
に良く調和致すから、肌の
害もなく、化粧品を樂にでき
、化粧も整し、且つ衛生の上に
於ても有効無害、體格に安心が
來ます。

中毒の實例

類々たる惡化粧品
用ひ合せの中毒

市村座の尾上菊太郎や中央劇
座の山口勝太郎の死の如きも、

全く白粉の用を過ぎたのはホー・カー樹木油ありき
若し化粧の事、に就て御質問が
ましたならば、直に御問合せ
れば、何時でも喜んでお客へ
（東京市市田區和泉橋際
ホー・カー化粧品、第一總經銷高木大郎商店）
東京府王子ホー・カー化粧品、化學研究

色よくする
ホー・カー
液

滑らかにする
ホー・カーオナー
粉

ノリのよい
ホー・カー
粉

ノビのよい
ホー・カー
クリーム
白粉

他は
ご
は
位
の

化粧品界


ホー・カーの化粧品は
互に良く調和し、調和する

三十三百二十七號中藥一千五百三十七號八百三十八號一千八百八十八號
小坂源助親類親類一千五百三十七號八百三十八號一千八百八十八號
三十三百二十七號中藥一千五百三十七號八百三十八號一千八百八十八號
小坂源助親類親類一千五百三十七號八百三十八號一千八百八十八號

○
三
ワ
石
人
凶

近來歲暮年始の御贈答用品には
實用的の品物をお選びになる方
が多くなりました。

實用的の御贈答用品と云へば最
も大切な左の要素を具備してゐ



るものでなくてはなりません。

一、何れの御家庭でも必要な品で、好き嫌ひのない、一般に喜ばれるもの。

二、澤山有つて、永く置いてても、品質の變らないもの。

三、持歩きに嵩張らない贈答に便利なもの。

みつわ・せつけん

○ニツワ石鱈は

一、何れの御家庭にも必要な日用品で、贈て皆喜はれ。

二、品質は永く置けば置く程長くなり。

三、金高が多くも少くも自由で、而も嵩張
持歩きに最も便利な、本邦人の皮膚手
洗滌に適する純良な一般的家庭用石
歳暮年始等の御贈答季節には、特
の需要が激増して來るのであり

○ミツワ石鹼

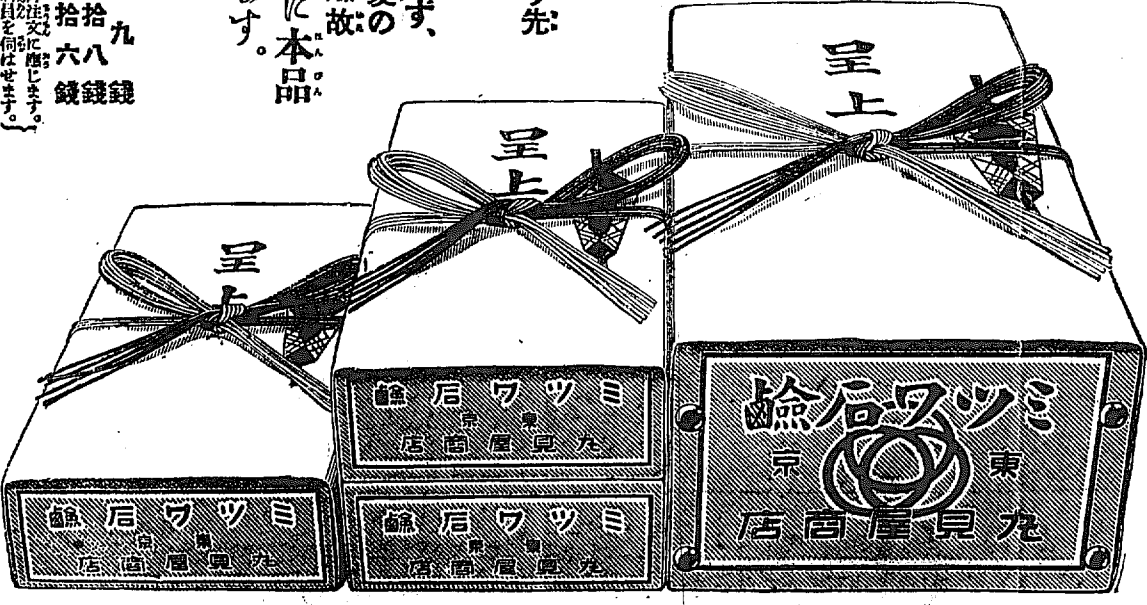
定價

參個包 金九
六個包 金壹圓
壹打包 金參圓

〔御贈答用ミツワ石鹼は何れの販賣店に於ても特に割價して
また郵送元へ批請かヘガキにて例一紙次第早速見本持

ミツワ家庭薬
ミツワ棹油
ミツワ規那識葡萄酒
ミツワ人參葡萄酒
ミツワポートワイン
肝油ドロツプス
御園化粧品

發賣元



東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信掛圖〇とヤ一 振替口座東京七一〇番
電話掛圖東京三〇・四四八・四四九・四五〇・三〇〇番

浮

入江草 (129)

「ねえ、おちやん、お出でよ。」
「一機にお出でつた。」
「奥ちゃん、殿前を顔をして一生懸命さう云い出した。」
「何處へ行くの？」
「殿前は笑ひながら、握手にしないやうな威嚇をした。両手で云つた。斯う振舞うるさく、酷賢の邪魔をさせようとした。」

「何處へ？ おおの好きな所へ行へ。」と、今年二歳、兩人で遊ばうぢやないか。わ、もう、おしまひよ。」唇をおしむりや上」

「おお、好きな處つて、私に好きなところなんかありませんか、こんな大膽なやつて何處へ来に行くことがあつて……もう、お好きな好い加減にしとお歸りなさいよ、わたしも居て見えないやがるな。」

彼は怒らしい思慕を見て。
「僕はこれにくゝ突つて何處へでも逃げたいと思ふ」と、顔を覗いた。

「さう、小僧さんといふのが、お嬢かならぬか、小僧さんといふはそれなのがイヤだから、おとな云ひのお嬢ささい、わ、奥ちゃん、人の御座るもんぢやないよ。」

「男僕なんかないよ、皆とも別腹。」

明治
町

ハキモノ

メツコ

「なにかないぢやないか、毎朝来て金を使つてさ、咄々とは此の二階を見せたらんだぞ。今年からナニの用にお戻つたぢやないか、お説教だつた出したぢやないかい、ナニの用にお説教か。」

ハキモノ
號メツヨ

遊ちやんん兄さんがあるの、へへへ、
 え。さうかね、オイ、誰だぞ、三三
 ちかり兄さんぢやないかい
 遊代は誰なんぞ笑ひや、兄さん
 誰だ、此處をあらうけに突つて來た
 の處へ、富崎がやつて來た。
 あなかな、此の人の話のよ、酔つ
 たらつてゐること云つて。
 兄ちやんん兄さんヨロツした目をして
 力を見た。

多の月 雪に 光りて 石地 願
 汽車走る 橋長さよ 雲 永
 岸燈の灯 消えて 多の月 仙
 湖吹雪 周をまをす 夫美園
 城然に 聲の音あり 九樂天
 往來絶えし人 遊橋 夢の風
 多の月 知らぬ 硯 鳴の堂

土曜會句集
 (一九三〇)

熊印ミルク
 選製ニ當リ衛生使用故シテ實
 用ニ最モ適ス
 熊印ミルク
 乳兒ノ體質ニ適スルヲ以テ選
 製スルニ當リ衛生使用故シテ
 熊印ミルク
 醫藥衛生界トシテ會社ノ顧問ニハ
 邦政府選任大府教授醫學博士
 佐々木博士
 熊印ミルク
 多年來ニテ醫學博士熊印ヲ研究シ
 レマスガ「オプサイエンス」學仕
 フ得故ニ北海道帝國大學教授ニ
 シテ所長ニ於ケル熊印會社ノ醫學
 博士佐々木博士ニ最モ醫學博士熊印
 用シテ之ヲ最モ第一層級ヲ以テ最モ
 心造ニ製スル以上ノ熊印ヲ選製セ
 ラルニ至リ之レガ保證セラル
 ガ熊印本品ヲ

寫 繪 品 現

ク

ル

熊印ミルク

熊印ミルク

製造所へ各地理人國有名ナル洋乳製法所及國産乳製法ニテ

乳 乳

北海道煉乳株式會社

新乳開採 自南洋之牧場 施設設備之製乳品
優美之條件 存貯之當心 外國產品之改良
至其原料供給者 名譽家之選拔 及相
應努力之貢獻之所由 其功績偉大

名譽金牌

賞章部長五位勲章受章者 大島金三郎
審査部長四位勲章受章者 佐藤三郎
審査部長四位勲章受章者 佐藤三郎
審査部長四位勲章受章者 佐藤三郎

大正七年九月八日

開通三十二年記念博覽會受章者 大島金三郎

乳 乳

北海道煉乳株式會社

新乳開採 自南洋之牧場 施設設備之製乳品
優美之條件 存貯之當心 外國產品之改良
至其原料供給者 名譽家之選拔 及相
應努力之貢獻之所由 其功績偉大

名譽金牌

賞章部長五位勲章受章者 大島金三郎
審査部長四位勲章受章者 佐藤三郎
審査部長四位勲章受章者 佐藤三郎
審査部長四位勲章受章者 佐藤三郎

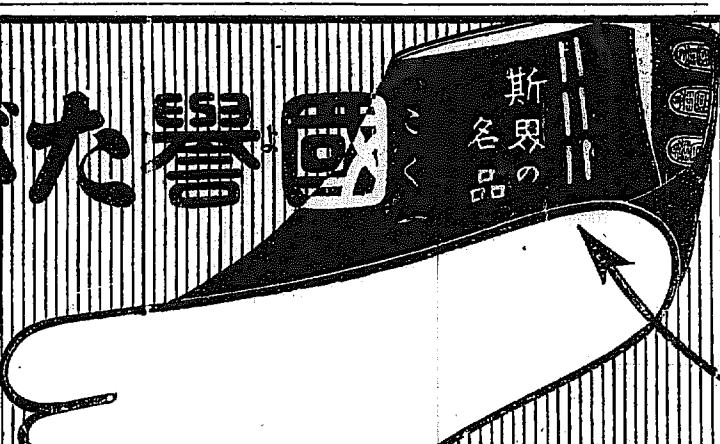
大正七年九月八日

開通三十二年記念博覽會受章者 大島金三郎

クニ印マク國産



大譽國



萬人滿意

製品種目
白紬木綿
全キヤヲコ
全朱子
ベツチン
全カバ

國譽言足袋本店



A COMPLIMENT OF THE SEASON



ヘルメス
ウヰスキー

